

岐阜県森林研究所（岐阜県美濃市、藤下定幸所長）は12日、「2024年度研究成果発表会」を、関市内で開催した。参加者は120人。今回は4講演（研究発表）のほか、ポスター発表で各研究成果を紹介した。研究発表では、同所森林資源部の白田寿生氏は、災害に強い森林内路網の整備を支援する地図の開発について紹介した。また、森林環境部の久田善純氏は、広葉樹の自然侵入のしやすさを示す取り組みについて報告。同部の宇敷京介氏は、再造林地の下刈りを部分的に省略することで針広混交林を誘導できる可能性について、森林資源部の水谷和人氏は国産黒トリュフの人工栽培を目指した技術開発について紹介した。

岐阜県森林研究所ホームページ掲載期限:令和7年8月2日
この記事は日刊木材新聞社の許可を得て使用しています。